とやま県政をぐっと身近に！

富山県議会議員

井上学県政報告

平成30年 夏号
発行：自由民主党
富山県議会議員会

暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

西日本豪雨災害で、不幸にもお亡くなりになられた皆様のご冥福を、心からお祈り申し上げます。また、未だに多くの皆さんが避難生活を強いられており、被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興に国を挙げて取り組まなければいけないと強く感じています。

富山県からも支援の人員や物資が行っていますが、明日は我が身、情けは人のためならずで、これからもしっかりと支援していくことが大事だと思います。暑い中ボランティア活動をされている多くの皆さんには本当に頭が下がります。自分が行けるかと言えば、どうでしょう。皆さん行けますか。こういう皆さん方がいらっしゃるから日本人は世界から注目尊敬されるのだと思います。日本人の誇りです。心から敬意を表し感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、平成と呼べるのもあと８か月余りとなりました。県では今年、幅広い県民の皆さんの参画のもと、新時代を迎えた富山県の県政運営の中長期的指針となる新総合計画「元気とやま創造計画－富山新時代へ　新たな挑戦－」を策定しました。

県民の皆さんが、若者も高齢者も、男性も女性も、一人ひとりが高い志を胸に未来に向け、夢と希望をもって、いきいきと働き暮らせる、元気な県づくりを、県民総参加で進めていく事が大事ではないでしょうか。そんな県づくりに微力ではございますが、今後とも一生懸命頑張ってまいる所存です。皆様方の変わらぬご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

平成 30 年夏　**井上　学**

６月定例会　予算特別委員会

問１　台湾との交流と観光振興について

（1）来年の「日台観光サミット」を契機に、今後の台湾との交流発展にどのように取り組むのか。

石井知事　答弁

立山黒部アルペンルートについては、台湾からの観光客が外国人観光客の約５割を占め、14 年前の約 6.8 倍となるなど、大変成果が出ている。

来年の「日台観光サミット」の本県開催は、本県の魅力を発信する絶好の機会であり、富山の魅力を存分に味わうことのできるエクスカーションや、地元と一体となった趣向を凝らしたおもてなしにより、台湾の旅行業界の方々に、本県の新たな魅力やまだ十分に知られていない観光素材をアピールし、さらなる誘客につなげていきたいと考えている。

また、富山 - 台北便の通年週４便体制の運行維持に努めるとともに、観光振興はもとより、産業分野を含めた幅広い分野での交流・連携を深め、双方向の交流人口をさらに底上げしていきたい。

(2) 本県と台湾との双方向の修学旅行の近年の推移はどうか。

渋谷教育長　答弁

昨年度、県立高校、私立高校併せて７校で実施され、521 名の生徒が参加しているが、平成 24 年の富山・台北便就航もあって、８年前の２校 77 名から大幅に増加しており、今年度も９校で実施し、622 名の生徒が参加する予定とのことである。修学旅行の実施校からは、台湾は「移動距離が短く、物価も安いため保護者の負担額が抑えられる」、「学校交流を含め、経験豊富な業者が充実した行程を組んでくれる」と聞いている。教育委員会では、各学校に情報を提供し、台湾への修学旅行の更なる拡大に向け、取り組んでまいりたい。

猪俣観光・交通・地域振興局長　答弁

本県では、台湾からの教育旅行について、平成 24 年度以降継続して受け入れており、昨年度も２校 42 名を受け入れた。両校ともに、県内の代表的な観光地を視察したほか、受入れ先の学校において、授業の体験や日本文化体験、ホームステイ等の交流を行い、双方の生徒が異文化を直接体験するなど、国際理解を深める観点からも意義あるものとなったと聞いている。

(3) 通訳の人材育成について

ア　県内の全国通訳案内士の言語別登録者数はどうであり、全国通訳案内士と地域通訳案内士との違いは何か。

猪俣観光・交通・地域振興局長　答弁

①「全国通訳案内士」は、高度な外国語能力と、日本全国の歴史・地理・文化等の観光に関する質の高い知識を有する者とされ、国家試験の合格を経て登録を受けるものであるのに対し、②「地域通訳案内士」は、特定の地域内での活動を前提に、一定程度の外国語能力と、当該地域における歴史・地理・文化等の現地情報に精通した者であり、自治体が定め観光庁の同意を得た計画に基づく研修の受講により登録を受けるものとされている。

なお、県内の全国通訳案内士の言語別登録者数については、平成 30 年６月 21 日現在で、英語 54 名、中国語 11 名、その他６言語 11 名、全体でのべ 76 名が登録されている。

イ　県の地域通訳案内士育成等計画によると、言語は英語のみになっているが、台湾語、中国語など本県への外国人旅行者の傾向に応じた通訳をこれまで以上に育成すべきと考えるがどうか。

猪俣観光・交通・地域振興局長　答弁

①世界的にも標準言語として使用されている言語が英語であることや、②観光ガイドコースに、ツアー企画やガイド等、旅行業界のエキスパートで、英語の全国通訳案内士の資格をお持ちの主任教授をお迎えしていることから、英語のコースとした。

なお、本県を訪れる外国人観光客に対しては、富山駅構内の観光案内所において、英語はもとより、中国語やインドネシア語、ロシア語など、計 13 ヶ国語による観光案内サービスを実施しており、昨年 11 月に、観光庁の外国人観光案内所の最高ランクであるカテゴリー３に認定されている。

(4) 今年は、「ねんりんピック富山 2018」や「全国消防操法大会」など、県外から多くの人に来てもらえると期待するが、県内周遊型観光の推進に向けた現在の取組状況はどうか。

猪俣観光・交通・地域振興局長　答弁

県では、全国大会等の参加者に県内を観光していただくため、①大会会場の観光案内ブース等における主要観光地や周遊モデルコースを紹介しているほか、②観光地へ向かうためのタクシー利用料金の助

成や県内観光のバスチャーター料への助成などを行っている。

今年のねんりんピックの富山開催にあたっては、①短時間で気軽に旅行できる日帰り型のツアーを新たに造成するとともに、②県内周遊型・体験型ツアーの情報を掲載したパンフレットを大会参加者に事前に送付し、ウェブサイトで予約受付するほか、③大会期間中も総合開会式会場や富山駅に設置される観光案内ブースでツアー商品等を販売することとしている。

(5) 2022 年度の北陸新幹線の敦賀延伸を見据え、北陸地域の広域連携観光の DMO を立ち上げ、本県がイニシアチブをとり、北陸が一体となって観光客誘致に取り組むべきと考えるがどうか。

石井知事　答弁

北陸広域での連携については、これまでも、北陸 3 県、富山県 DMO、各県観光連盟、JR 西日本、北陸経済連合会で構成する誘客連携協議会を設け、年間を通じた切れ目のない誘客キャンペーンを展開し、大型ポスターの JR 駅等での掲示や新幹線車内誌による PR などを行うとともに、大手旅行会社に対する北陸への旅行商品造成の働きかけなどに取り組んでおり、例えば、冬季の北陸新幹線の乗車数が 4 か月連続して前年を上回るなど、その効果も徐々に現われてきていると考えている。

今後とも、北陸新幹線の敦賀延伸を見据え、本県や北陸地域の観光振興、岐阜も含めて広域連携の取組みを進めてまいりたい。

(6) 富山 - 高山間の観光列車の誘致や高山市内での本県の PR について、所見を問う。

猪俣観光・交通・地域振興局長　答弁

高山本線への観光列車の導入については、JR 西日本からは、「普通列車として利用しているディーゼルカーの老朽化（廃車等）が進み、観光列車として改造するための車両がないことから、実現は難しい。」とされてきたところである。

一方、JR 東海は、名古屋―飛騨古川間において観光列車「ぬくもり飛騨路号」の季節運行を始めたところである。県としては、「ぬくもり飛騨路号」の「富山―高山間」運行について、可能性があるかどうか、まずは JR 西日本に相談することとしたい。

高山本線の利用促進はとても重要な課題であり、今後とも、高山本線強化促進同盟会や岐阜県等と連携を図りながら、しっかり取り組んでまいりたい。

問 2 食品ロス削減対策等について

(1) 県内の 1 日当たりの食品ロス発生量や食品ロスの実態・特徴をどのように把握しているのか。

須河生活環境文化部長　答弁

家庭系の食品ロスの発生量等の実態については、平成 28 年度から 29 年度にかけて可燃ごみの組成調査を実施し、この結果、県内の家庭系食品ロスの発生量は可燃ごみの約 1 割を占め、年間 2.7 万トン、1 人 1 日当たりでは茶碗半分程度の 69 グラムと全国と概ね同程度であった。本県の特徴としては、未開封のまま廃棄される「手付かず食品」の割合が全国平均より高く、特に、夏季には夏野菜が、冬季は贈答品が「手付かず食品」として増加するなどの傾向が見られた。

芝田農林水産部長　答弁

事業系の食品ロスの発生量等の実態については、平成 28 年度に、県内の食品関連事業者 4,000 事業

所を対象として調査を行い、食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業の４業種別に食品ロスの発生量等を推計した。

この結果、本県の事業系食品廃棄物の年間発生量は、8.2 万トンで、このうちまだ食べられるのに捨てられている食品ロスは、1.6 万トンと推計され、事業系食品廃棄物のうち食品ロスの占める割合は、19.4%と見込まれる。

食品ロスの発生量を業種別にみると、①外食産業からの発生量が全体の 36.3%と最も多く、そのうち、発生原因としては、「食べ残し」が５割以上を占めている。次いで、食品製造業からの発生量が 30.4%、食品小売業から 24.8%、食品卸売業から 8.5%となっている。

(2)「食べきり 3015 運動」「使いきり 3015 運動」などを県民総参加の運動として根付かせることが大事であり、食品ロス削減の推進に今後どのように取り組んでいくのか。

石井知事　答弁

「使いきり」「食べきり」を県民１人１人に問題意識を持ち行動していただくため、①毎月 30 日と 15 日に食材を使いきる「使いきり 3015 運動」、②食材の使いきりコンテスト、③食材を無駄なく使うサルベージ・セミナーの開催支援、④パーティーの開始後 30 分と終了前 15 分は自席で料理を楽しむ「食べきり 3015 運動」、⑤飲食店における食べきりサイズメニューの導入などの取組みを進めている。また、流通での納品や販売の期限に関する「1/3 ルール」の商慣習の見直しに向けて検討を進めている。こうした本県の先駆的な取組みや商慣習の見直しに向けた実証実験の成果について、本年 10 月に、本県で開催される「3R 推進全国大会」において紹介し、全国に発信することで、県民の皆さんの意識をさらに高め、県民、事業者、行政が一丸となって、食品ロス削減対策の深化・充実が図られるよう取り組んでまいりたい

(4) 通常の販売が困難な食品・食材を引き取り、生活困窮者等へ無償提供するフードバンク等の活動がますます注目されるが、本県におけるフードバンク等の活動状況はどうか。

前田厚生部長　答弁

県内でのフードバンクの取組みについては、平成 21 年から、ボランティアグループ「NPO 法人フードバンクとやま」が活動を行っており、平成 29 年は 7.6 トン余りの食品を取り扱い、県内の福祉施設や団体等を支援しており、取扱量は年々増加していると聞いている。

また、県内の社会福祉協議会では、生活困窮者支援の一環として、食料品に加え、家庭で使用しなくなった日用品や家電等を集め提供を行う「遊休品バンク」活動を行っており、フードバンク等とも連携しながら、実施されている。

(5) 県におけるこども食堂の現状や役割はどうか。また今後、県としてどのように支援していくのか。

前田厚生部長　答弁

県内において、「こども食堂」の開設が近年増加しており、平成 28 年に 4 箇所、平成 29 年に 5 箇所が新たに開設され、現在 9 箇所が運営されている。

「こども食堂」は、「貧困家庭への経済的支援」としてとらえられがちであるが、法律上の定義はなく、最近では、子どもたちの孤食を防ぐ「心の貧困対策」として、また、「子どもの居場所づくり」を担う地域の取り組みとして注目されている。県では、立上げ経費を支援するとともに、今年度から、県内 9 箇所のこども食堂が加盟する「富山県子どもほっとサロンネットワーク」を設立し、交流会を開催したところであり、今後とも県内に「こども食堂」が増えるよう、開設を支援してまいりたい。

6月定例会　経済建設委員会

問1 地域高規格道路高山連絡道路について

(1)「猪谷楡原道路」「大沢野富山南道路」それぞれの近年の予算額の推移と現時点の状況はどうか。

上坂道路課長　答弁

「猪谷楡原道路」については全体事業費 360 億円とされており予算の推移としては当初ベースで平成 28 年度 17 億円、平成 29 年度 17 億円、今年度 20 億 5 千万円が配分され昨年度末時点の事業費ベースでの進捗率は 73%である。

隣接する富山市楡原から栗山間延長約 12 km が「大沢野富山南道路」として平成 26 年に事業化され、これまでに調査設計が進められている。

「大沢野富山南道路」については全体事業費 380 億円とされており、予算の推移としては、当初ベースで平成 28 年度 5 億円、平成 29 年度 7 億円、今年度 7 億円が配分され進捗率は約 4%となっている。

(2) 今年度の工事予定とそれぞれの今後の進捗の見込みについて問う。

上坂道路課長　答弁

今年度の工事予定としては「猪谷楡原道路」については、残る 1.6km 区間の神通川にかかる（仮称）片掛橋について下部工全体 5 基うち今年度は 2 基の橋脚工事を実施し（仮称）猪谷橋については、上部工工事を進める予定。進捗見込みについては全体事業費 360 億円に対し残すところ事業費ベースで約 27%となっており早期に完了するよう国に働きかけて参りたい。

「大沢野富山南道路」については今年度調査設計を進め春日地区などで用地買収に着手する予定と聞いている。今後の見込みについては全体事業費 360 億に対しまだ平成 29 年度までで約 4%の進捗であり用地買収を進め早期に工事に着手し事業が進捗するよう国に働きかけて参りたい。

猿倉山フェスティバルで
下タ南部の五平餅

猿倉山フェスティバルで
山岳警備隊のリュック重い！

森と木のフェスタで植樹を

経済建設部会で
ドイツの工場を視察

塩地区での県政報告会

経済建設委員会で霞が関へ要望

自民党政策コンテストで優秀賞の高校生と

松野そば祭りで青年部と

森と木のフェスタで県土連の皆さんと

大山大庄自治振興会総代会

東京富山県人会で朝乃山関と高野議長

日台観光サミットで台中市へ

富山西総合病院内覧会にて

北信越議員野球で２連覇

井上学の主な活動

1月
- 1日 各地区新年会（～3日）
- 2日 後援会新年交歓会
- 4日 党県連新年初顔合わせ
- 5日 新年挨拶回り
- 7日 消防出初式、成人式、各地区新年会
  大沢野地域建築組合総会
- 8日 大沢野武道稽古始め
  ボーイスカウト新年懇談会
- 10日 大沢野野細入商工同友会新春懇談会
- 11日 県警年頭視閲式
  大沢野地区自治振興会新年会
- 13日 田畑裕明新春の集い
  春日長走地区新年会
  党大沢野支部決算役員会
- 14日 万開地区新年会・講演会
  日台友好議連訪台（～18日）
- 19日 議員総会、経済建設部会
  県土連要望
- 20日 党大沢野支部総務分会長会議
- 21日 長附親寿会、東福沢5区新年会
  富山西総合病院竣工記念式典・祝賀会
  今生津お日待ち行事
- 22日 中山間振興条例ＰＴ
  塩地区県政報告会
- 24日 党政調正副部会長会議
  雅友会賀詞交歓会
- 25日 南商工会大沢野細入支部懇談会
- 27日 小羽地区県政報告会
- 28日 党大沢野支部定期大会
- 29日 中山間振興条例ＰＴ講演会
- 30日 北陸3県議会議員研修会（～1日　福井）

2月
- 1日 朝勉強会、議員総会
- 3日 党県連支部長幹事長事務局長会議
  北方領土の日記念大会
  大沢野方面団新春の集い
- 4日 大山瀬戸地区そば祭り
- 5日 経済建設部会視察研修会（～10日　ドイツ）
- 11日 松野地区そば祭り
  党細入支部定期大会
- 12日 公明党新春の集い
  朝乃山新年激励会
- 15日 第2選挙区支部県議団会議
  日中友好団体連合会講演会
- 16日 県建設業協会懇談会
- 17日 富山市体育協会70周年記念式典
- 18日 高内1区総会
- 21日 稲代地区県政報告会
- 22日 経済建設常任委員会
- 23日 舟倉消防友の会総会
- 24日 野上浩太郎を囲む会
  上二杉地区県政報告会
- 25日 党大山支部定期総会
  高見克行氏叙勲祝賀会
  小羽地区そば祭り
- 26日 議員総会、2月定例会開会、提案理由
  全員協議会
- 27日 大沢野地域自治振興会連合会
- 28日 代表質問、議員総会、先議
  大野地区県政報告会

3月
- 1日 北アルプス横断道路推進会議講演会
- 2日 一般質問（1日目）
  県庁ＯＢ会富山地区総会
- 4日 詩吟審査会
  大山福沢地区自治振興会総会
  第2選挙区特別講演会
- 5日 中央農業高校打合せ
- 6日 一般質問（２日目）
  県ＰＴＡ連合会意見交換会
- 8日 一般質問（３日目）
- 10日 高内自治会役員会
- 11日 下タ南部地区ごへい祭り
  寺家自治会総会・県政報告会
  横樋自治会県政報告会
- 12日 予算特別委員会（1日目）
- 14日 予算特別委員会（２日目）
  大沢野美術協会総会
- 16日 予算特別委員会（3日目）
  船峅自治振興会総会
- 17日 黒部市長選事務所開き
  県防火防災推進大会
- 18日 春の消防総合訓練
  高内自治会総会
- 19日 幼稚園修了式
- 20日 議員総会、総括質問
  第2選挙区県議団会議
- 21日 田畑政務官を励ます会
- 22日 経済建設常任委員会
- 23日 議員総会、採決、議員懇談会
- 24日 船峅防犯組合総会
- 25日 各地区自治会総会
  大沢野赤十字奉仕団総会
- 27日 富山ＣＣ理事会
- 29日 富山地区春期実践倫理講演会
- 30日 大沢野体育協会総会
- 31日 石井知事大山後援会総会

4月
- 1日 大沢野地域各地区春祭り
- 2日 新年度挨拶回り（～4日）
- 6日 小学校、中学校入学式
- 8日 黒部市長選告示・出陣式
  大山ごんべ祭り
- 12日 富山市長、市議会議長へ自治振興会要望
- 13日 黒部市長選総決起大会
- 14日 高砂願念坊まつり
  大沢野小地域連携親睦会
- 15日 黒部市長選投開票日
- 17日 中山間振興条例PT視察（～19島根、広島、山口）
- 20日 全国都道府県議会議員研修会（東京）
- 21日 大沢野自治振興会、笹津自治会ほか総会
- 22日 党県連総務会、第2選挙区役員会
  立山山麓森林組合総代会
- 23日 北陸3県議会議員ゴルフ大会
- 24日 中山間振興条例PT勉強会
- 25日 護国神社春季祭礼

井上学の主な活動

26日 県議会正副委員長会議
党政調会正副部会長会議
27日 立山山麓グリーンシーズン安全祈願祭
土地改良政治連盟総会
28日 伏木富山港国際物流ターミナル竣工式
富山市南防犯協会総会
29日 ボーイスカウト県大会

5月
1日 山本副議長就任を祝う会
3日 八尾曳山まつり
7日 文化会館跡地利用打合せ
9日 県議会産業基盤強化特別委員会
10日 議員総会
11日 正副委員長会議
H31年度県重要要望事項レク
12日 堂峰会総会・講演会
16日 富山市南商工同友会総会
17日 富山高山連絡道路整備促進同盟会総会
神通川常願寺川直轄河川同盟会
18日 北信越県議会議員野球大会（～19　長野）
20日 森と木のフェスタ
大沢野消防友の会懇親会
21日 党政調正副部会長会議
党友好団体懇談会
富山市南商工会総代会
22日 県庁耕友OB会総会
富山市ボート協会総会
24日 県道富山上滝立山線同盟会ほか総会
24日 大沢野機械工業センター総会
25日 経済建設委員会県内視察
中央農業高校教育後援会総会
党大沢野支部総務分会長会議
26日 党青年局政策コンテスト
党県連定期大会
ボーイスカウト富山10団育成会総会
27日 猿倉山フェスティバル
29日 党呉東ブロック地域政調会議
船峅商工振興会総会
30日 日台観光サミット（～3日　台中市）

6月
4日 中山間地域振興ＰＴ
経済建設常任員会
6日 第2選挙区ゴルフ大会
7日 国への県重要要望（経済産業省ほか　～8日）
東京富山県人会
11日 議員総会、提案理由説明、常任総務会
13日 第2選挙区県議団会議
高野議長就任祝賀会
15日 本会議一般質問（１日目）
17日 大沢野方面団消防操法大会
18日 中山間振興ＰＴ県内視察（南砺市）
19日 本会議一般質問（2日目）
21日 予算特別委員会（1日目）
23日 大山方面団消防操法大会
大庄自治振興会総代会
大沢野政経研究会
24日 細入方面団操法大会
25日 予算特別委員会（２日目）
26日 議員総会、経済建設常任委員会
富山カントリークラブ理事会
27日 議員総会、採決
28日 拉致問題地方議員連盟総会
富山県海洋防災協会総会
30日 水機工業50周年感謝の集い

7月
1日 党県第2選挙区支部定期大会
2日 県出向経験者への要望・懇談会（ふくらぎ会）
3日 経済建設部会勉強会
5日 日台友好議員連盟総会
6日 県連支部長幹事長事務局長会議
7日 自治体消防70周年富山市式典
井上後援会執行部会
8日 高内自主防災会防災訓練
9日 日韓友好議連総会・講演会
上婦負自治振興会連絡協議会
10日 大沢野地区自治振興会要望ヒアリング
11日 富山新港50周年式典・レセプション
大山ライオンズクラブスタート例会
13日 冬季国体実行委員会設立総会
14日 富山市消防団操法大会
笹津分団、船峅分団慰労会
井上後援会役員支部長会議
15日 高内自治会役員会
17日 大沢野地区自治振興会要望箇所現地調査
21日 県道小杉婦中線戸破高架橋開通式
党県連とやま号街宣活動
22日 叙勲祝賀会
県土連60周年記念式典・祝賀会
23日 光政会総会
東部山麓道路建設促進同盟会総会
北アルプス横断道路推進会議総会
24日 県連政調会長会議研修会
25日 経済建設委員会視察（～27 福島、宮城）
27日 八木山納涼夜店まつり（～28日）
28日 県消防操法大会
船峅土地改良区総代会
29日 中沖前知事お別れの会
佐々成政戦国時代祭り
30日 農業問題調査会農業法人視察
議員総会、中山間ＰＴ講演会

主な役職

県議会における所属委員会・部会・議員連盟・調査会等

＜県議会委員会＞
経済建設常任委員会　副委員長
産業基盤強化特別委員会　委員

＜自民党＞
県連組織委員会　副委員長
政調会経済建設部会　副部会長
県第2選挙区支部　副幹事長

＜議員連盟＞
日中、日韓、日台、日露友好議員連盟
山村振興、スポーツ振興議員連盟
砂防促進、拉致、観光振興議員連盟
自衛隊支援、スカウト、オイスカ議員連盟
看護、宅建議員連盟
商工会、ＭＯＡ議員連盟
富山県南米協会
県東部地域活性化協議会

＜自民党調査会＞
富山湾未来創造調査会
雇用問題、医療問題調査会
農業問題、水産問題調査会
薬業問題、都市問題調査会
私学教育、都市農山漁村交流調査会

プロフィール

誕生日／昭和33年8月20日（59才）
婦中町羽根川口生まれ

古里小学校・城山中学校・富山中部高校・新潟大学農学部卒業
昭和56年／富山県庁入庁
平成26年／農村振興課長で富山県庁退職
平成27年／富山県議会議員初当選

連絡先

【富山県議会自民党控室】
〒930-8501　富山市新総曲輪１－７
TEL 076（431）5244　FAX 076（441）8421

【事務所・自宅】
〒939-2254　富山市高内52－７（旧大沢野町）
TEL 076（467）2359　FAX 076（403）2620
携　帯　090 － 9767 － 1098
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　hppt://www.inoue33.net/
E-mail　gaku2014@yahoo.co.jp

県議会の詳しい様子は、
富山県議会のホームページでご覧いただけます。
富山県議会 **http://www.pref.toyama.jp/sections/0100/**

■各種要望、座談会開催受付のご案内
皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡下さい。また、3人程度お集まり頂ければ、当方よりお邪魔し、出張ミニ県政報告会を開催させて頂きます。お気軽にお声かけ下さい。